

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学 び の 場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ 中学校	学 年	1・2・ 3 ・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・ その他		
障 害 種	弱視・難聴・ 知的障害 ・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・ 注意欠陥多動性障害 ・その他		
教科・行事名等	自立活動（家庭学習・日常生活指導） ※臨時休業中の課題		
タイトル	毎日こつこつがんばろう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	人と関わることが好きで、かつ衝動性があり、外出が我慢できない。見守りがあれば落ち着けるが、1人で課題に取り組むことが苦手。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	1日の中で、落ち着いて家庭学習に取り組む時間をもつ。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	1週間の中で2～3回、決めた曜日に電話連絡も行った。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

1週間の計画表 (5月11～17日)

3年1組 ()

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

5月11日の課題

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

※その日の課題等に応じたメッセージや励ましの言葉
(5～6行手書き)

(左) 1週間の計画表 (右) 1日分の課題冊子の表紙。

- ・ 課題は1日分を1冊にして、1日の学習量を本人にも保護者にもわかりやすくした。
- ・ 表紙に1日ずつ手書きのメッセージを書き、教師の見守りが感じられるようにした。

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・ 通級による指導 ・通常の学級・その他
校 種	小学校・ 中学校
学 年	1・2・3 ・4・5・6年
指導場面	授業 ・学級活動・学校行事・学校生活・その他
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症 ・情緒障害・学習障害・ 注意欠陥多動性障害 ・ その他
教科・行事名等	自立活動
タイトル	家庭学習のスケジュールを立てよう
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	見通しをもって行動することが苦手である。
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	提出日から逆算して、一日にする課題の量を決めて学習できる。
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	* 内容（3）登校しない日の自宅学習課題の工夫

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- 1 課題一覧を見なくても、課題ページがわかるようにする

（例）ワークや問題集の該当ページに○印をつける、付箋を貼る等

- 2 各教科ごとの課題量をページ数で把握する

（例）課題一覧（5教科）

教科	課題内容	ページ数
国語	ワーク P21, 38, 39, 56, 72, 110, 129, 130, 142	9
社会	ワーク P28～38	11
数学	ワーク P2～8, 11～13	10
理科	問題集 P16～23	8
英語	ワーク P8, 10, 13, 24, 26, 28, 38, 40, 43, 44, 60, 62, 66, 70	14

- 3 一日あたりの課題量について、目安を計算する

<例> 提出日まで、あと 15 日

ページ総数 52 ページ

1日あたり $52 \div 15 = 3 \cdots 7$ （3 ページ × 8 日間、4 ページ × 7 日間）

4 チェック表を作る

(1) 進行状況（課題の残量）を「見てわかる形」にする。

(2) できた分を「チェックできる形」にする。

<例>

教科	課題											提出日		
国語	■	■	■	■	■	◇								/
社会	■	■	■	○	○	◇								/
数学	■	■	■	■	●	◇								/
理科	■	■	■	■	■	■								/
英語	●	●	●	○	○	◇								/

* ワークシートでなく、方眼ノートを利用することで、自分で工夫できるようにする

指導事例

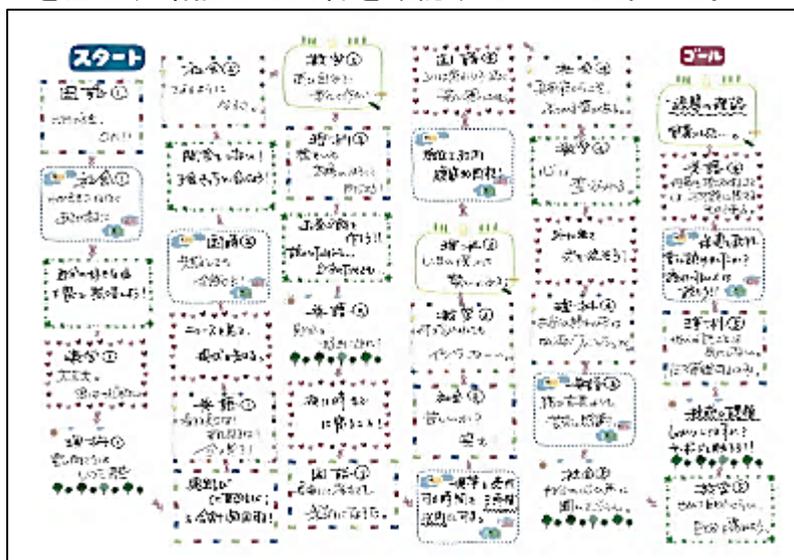
※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・ 通級による指導 ・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ 中学校	学 年	1・2・ 3 ・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・ その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・ 学習障害 ・ 注意欠陥多動性障害 ・その他		
教科・行事名等	休校期間における自宅学習		
タイトル	休校期間中の自宅学習課題の工夫とよりよい生活習慣を身につけさせるための工夫		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	注意集中や指示内容の理解が困難な上に、計画的に物事に取り組むことは最も苦手である。また、楽しいことに流されがちで生活習慣が乱れることも予想される。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	毎朝決まった時間に起床し、規則正しい生活を送ることができる。日々の学習をコツコツ取り組むことで、長期課題をやりきることができる。日々の課題の取り組み状況が可視化できるようにすごろくを使う。家庭連絡を密にし、本人の様子に沿った支援をする。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組			

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

◎自宅学習課題の工夫

- ・ 一週間分の課題をまとめて提示するのではなく、1日ごとに各教科1課題と決め、その課題ができたなら「すごろく」に着色し、ゴールを目指す。
- * すごろくと課題表はタイアップさせてある。
- * 1日ごとの課題の取り組み方は細かくアドバイスしてある。
- * 家庭連絡を入れたときに、本人の困難さを聞き取り対応した。また電話でクイズを出し、暗記した内容を確認することもあった。



指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他
校 種	小学校・ 中学校 学 年 1・2・3 ・4・5・6年
指導場面	授業 ・ 学級活動 ・学校行事・ 学校生活 ・その他
障 害 種	弱視・難聴・ 知的障害 ・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症・情緒障害 ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他
教科・行事名等	各教科学習場面、学級活動
タイトル	安全に対策し、新型コロナウイルスを正しく知ろう。
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	マスクが苦手で使用できない。新型コロナウイルスに過剰に反応し、不安を感じている。新しい生活様式について理解しにくい。
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	感染防止に必要な対策をして授業を受けることができる。 マスクの代わりになるものを使用することで安全を確保することができる。 新型コロナウイルスを正しく理解し、不安なく自信をもって学校生活を送ることができる。
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	手作りパーテーションとフェイスシールドの作成。 新型コロナウイルス対策の動画と紙芝居の利用。

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

「マスクが苦手な生徒の対策」

- ・机の上に置くパーテーションは、ホームセンター等で売っているA2サイズのアクリル板に、更に両側面にA4（A3でもよい。）アクリル板を2枚貼り、その下に100円ショップのカード差しを取り付け、固定する。折りたためて持ち運び自由なため、移動教室でも使用できる。上部の空気が気になるときはA3アクリル板を上張り付けると良い。
- ・フェイスシールドは、100円ショップでA4硬質ファイル、食器洗い用のスポンジ、黒ゴム（25mm幅）を購入し、両面テープで貼り付け、頭の大きさに合わせて止める。透明で表情や口の動きがわかるため、感情がわかり、心情の変化が把握しやすい。またマスクをつけていなくても胸あたりまで覆うため、飛沫が飛び散るのを防ぐことができる。
- ・席と席の間のパーテーションは、保健室にあるようなシングルタイプのクロスパーテーションのカーテンを外し、代わりにビニールをつける。体育や自活、技術家庭科や美術など大きな動きを伴う活動の時に役立つ。



アクリル板パーテーション



硬質ファイルのフェイスシールド



ビニールのクロスパーテーション

「コロナの正しい理解」

- ・動画で説明する。：楽しくわかりやすく新型コロナウイルスについて理解することができる。

健康戦士コロタイジャー ヒーロー戦士がクイズ形式でみんなと新型コロナウイルスをやっつける。

- ① えいせいレッド：正しい手の洗い方を、「ハッピーバースデー」の歌を2回歌いながら正しく洗う方法。次に3つの咳エチケット、最後に3密の避け方を説明している。
- ② めんえきホワイト：よく食べ、よく寝て、イライラしない。ストレスをためないためのリラックス呼吸法やパニックになった時の対処の仕方がわかる。
- ③ おもいやりピンク：すでに感染している患者への差別や偏見をなくすためにはどう考えればよいか。また、医療関係者への感謝の気持ちの大切さを知ることができる。
- ④ メタにんちイエロー：自分をメタ認知するためには自分をモニターしてコントロールする方法を説明している。

生徒の反応：「めんえきホワイト」は不安を感じている生徒にとっては良いアドバイスになり、体を動かしたりしながら理解することができた。

出典：SPAC daily work (You Tube)

- ・紙芝居を使って説明する。パワーポイントに変換して説明することもできる。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう ～負のスパイラルを断ち切るために～



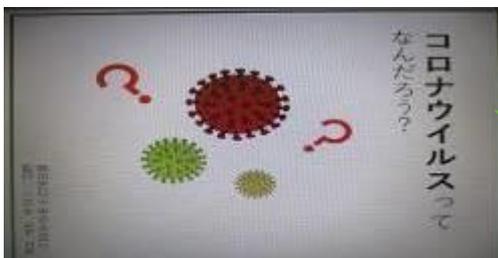
- ・第1：病気そのもの
- ・第2：不安と恐れ
- ・第3：嫌悪・偏見・差別
- ・3つのことを防ぐために必要なこと

出典：日本赤十字社 ホームページ

生徒の反応：みんなで音読し、理解を深めることができた。対策をして新型コロナウイルスに打ち勝ち、第2波に備えようという前向きな気持ちになっていた。

他にも2つの例を、紹介する。

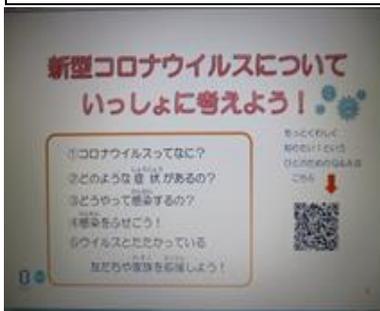
新型コロナウイルスってなんだろう？



- ・新型コロナウイルスって何だろう
- ・新型コロナウイルスやっつけるぞ作戦①～③
- ・新型コロナウイルスにまけないところとからだにするためには。

出典：藤田医科大学 微生物学講座 感染症科HP

新型コロナウイルスについていっしょに考えよう



- ① 新型コロナウイルスってなに？
- ② どのような症状があるの？
- ③ どうやって感染するの？
- ④ 感染をふせごう！
- ⑤ 新型コロナウイルスと戦っている友達や家族を応援しよう！

出典：岡山大学 KMS HP

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ 中学校	学 年	1・2 ・3・4・5・6年
指導場面	授業 ・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・ 知的障害 ・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	自立活動		
タイトル	ウイルスを予防しよう！ ～手洗いするとほんとうにきれいになるの？～		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	説明を聞いただけでは理解しにくいことが多い。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	手洗いをし、ウイルスを予防しようとする意識を高める。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	汚れた手のばい菌の様子を視覚的にわかりやすくし、理解を促す。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・食パンを二枚用意し、一つ目の食パンには手洗い前の汚い手のひらをこすりつける。二つ目の食パンには、手洗い後のきれいな手のひらをこすりつける。
- ・食パンを数日間観察する。
- ・汚い手のほうの食パンは4日ほどでカビが発生。
- ・観察をした感想を書かせ、手洗いの大切さを改めて確認した。



指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他
校 種	小学校・ 中学校
学 年	1・2・3 ・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・ その他
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症 ・ 情緒障害 ・ 学習障害 ・ 注意欠陥多動性障害 ・その他
教科・行事名等	日常生活
タイトル	ポスティングのプリントを、自分でしっかりと確認しよう
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	配布されたプリントの量が多すぎると、内容を確認・理解することを拒否してしまう。
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	プリントを保護者まかせにするより、自立という観点においても、プリントに自ら目を通し確認・理解できるようにする。
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	わかりやすいようなプリントの分類・マーカーの使用

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

いざ、ポスティングを行うとなったとき、膨大な量のお知らせプリント・宿題プリントを封筒に入れることとなった。受け取った後、そのプリントをそのままにすることなく、保護者に必要なものは保護者の手に渡し、本人に必要な情報は本人がしっかりと理解できるよう取り組んだ。

取り組み

- ① ポスティングプリント一覧表にしたがって、プリントをその順番に入れておく。
- ② マーカーを何色か使い、プリント内の本人に必要な内容はマークしておく。
(その場合は、同系統の内容は同じ色のマーカーを使う。宿題関係はピンク、登校日に関することは緑など)
- ③ ポスティングのあった日は、必ず電話連絡し、電話越しだがプリントの確認をする。
- ④ 電話連絡のとき、プリント一覧表を見ながら入っているプリントを確認する。
そのとき、こちらが読み上げ、確認させ、保護者用とそうでないものに分類させる。
保護者用のものに関しては、保護者に渡すよう伝える。
- ⑤ 本人に必要なプリントを確認する。マーカーの色で分けながら説明する。
(ピンクのマーカーのところを見て など)
- ⑥ 説明の時間が長くなったり、説明を複雑に感じたりすると内容が記憶にとどまらないので、重要なところをピンポイントで説明するようにところがける。